

〔瑤囊抄三〕一條堀川橋ヲモドリ橋ト云ハ何故ゾ略○中

逝トハ死去ノ事也、論語云、逝往、往者如川流カト云々、人ノ逝去スルヲ、河流不返喻ル也、

〔海人藻芥〕常之人ハ、逝去、他界トモ、

〔下學集下〕恩クワシ捐館新回寂義也、人死、去捐平生館屋、

〔運歩色葉集衛〕捐館日本人之遠行

〔和爾雅三〕身體シヌル死略○中 恩クワシ捐館史記、蘇秦傳、

〔瑤囊抄五〕同事天子ヲ晏駕ト云ハ如何事ゾ略○中

新死ヲ捐館ト云、死スレバ平生ノ館屋ヲ捐義也、辭世ナンド曰、同心也、

〔和爾雅三〕身體シヌル死略○中 易箕禮

〔碧山日錄〕寛正元年七月六日庚辰、春公之父常久、字昌運略○中、易其篋逝矣、

〔和爾雅三〕身體シヌル死略○中 下世也、又云、歸泉、逝世、

〔三外往生記〕大納言源雅俊卿略○中、閉眼之日、以綵縷著佛手、引而念佛、安然即世、

〔吾妻鏡三十三〕曆仁二年延應元年十月十一日丁未、左兵衛尉藤原長定法名、淨圓歸黃泉年四十三

〔日本釋名下〕ナラ死ナラ、死をなむると云、なをは直也、死したる者は其身すくみて、直になるゆへなり、

〔倭訓栞中編十七〕なほる略○中 齋宮忌詞に、死を云は、強直の義、すくはる意也、儀式帳には、なをり

物と見えたり、

〔延喜式五〕齋宮凡忌詞略○中、外七言、死稱奈保留、

〔皇大神宮儀式帳〕亦種々乃事忌定給支○中、死乎、奈保留物止云略○中、如是一切物名忌道定給支、

〔沙石集一下〕生類神明供不審事

サテ夜ルヨリアヒタリケルニ、先達ハヤガテ金ニ成ヌ、熊野ニハ死ヲバ金ニナルトイヘリ、